



WEDA®

OptiMum

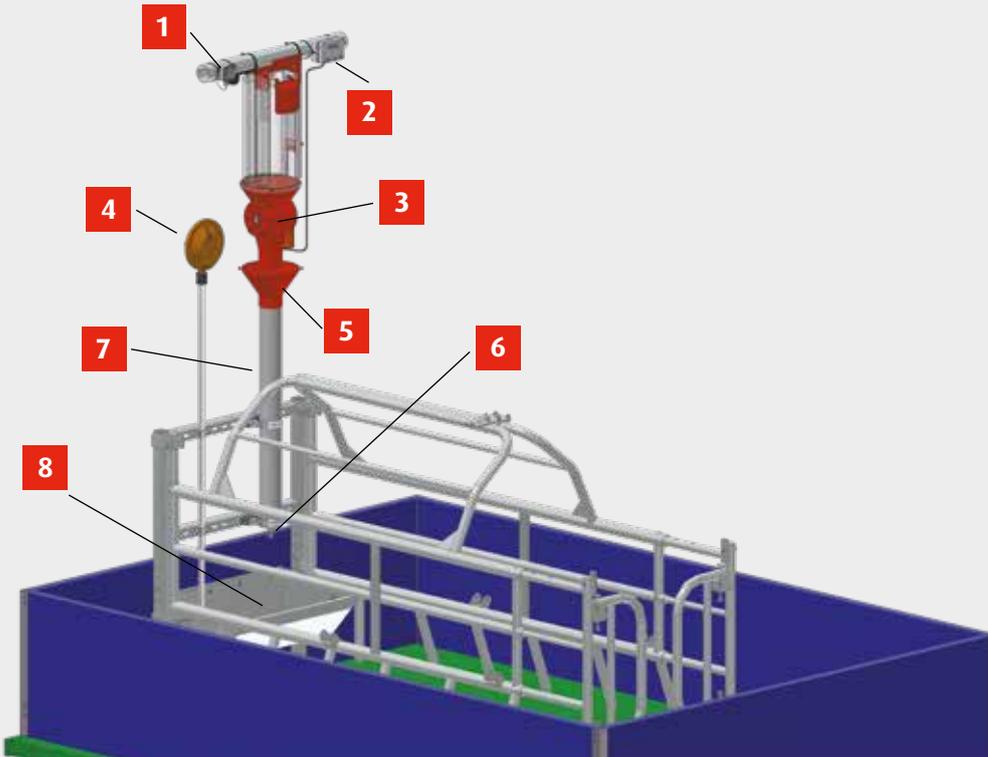
授乳母豚への最適なケア

www.weda.de





身体的コンディションの持続



- 1 スマートライト (オプション)
- 2 AB1接続ボックス
- 3 回転バルブ付きオプティマム
- 4 水レベル (オプション)
- 5 ジョウゴ
- 6 振り子センサー
- 7 外側パイプ
- 8 トラフ

授乳中の母豚向けのオプティマム

授乳中の母豚舎では、正確で定期的な飼料の提供が身体的なコンディションを持続的にまたは向上させるために特に重要です。少ない量から少しずつ与えることは、給餌の消費量の増加や母乳の継続的な生産を研究や長年の経験で証明されています。後者は仔豚の成長に良い影響を与えます。

WEDAはこれらの利点を最大限に活用する回転バルブを備えたオプティマムによって、分娩舎での給餌システムを発展させてきました。オプティマムシステムは正確で定期的な飼料の提供を容易にし、それぞれの母豚の必要な給餌について考えています。結果、アニマルウェルフェアとの持続可能なバランスと効率的な仕事に利益をもたらします。

衛生問題もオプティマムにおいて無視されていません。投与する飼料はドライで、過度の汚れを防ぎます。さらに少量の給餌やニーズに合わせた投与により、長い時間トラフに食べ残しが残ることはありません。このことがフードロスを減らします。とても素晴らしい利点はトラフの飼料は常に新鮮であるということです。

- ・ より正確な少量給餌、ニーズに合わせた給餌
- ・ 飼料消費量の増加
- ・ 母豚のコンディションの向上
- ・ 母乳量の増加
- ・ トラフの清掃の回数が少なくなるため、時間の節約
- ・ フードロスの削減
- ・ 母豚のトラフへの新鮮な給餌



正確な投与のための回転バルブ



ペレットと振り子のオプティマム

どんなドライフィーディングシステムにも導入可能

- ・ 既存のドライフィーディングへの改造が可能
- ・ 簡単な組み立てと導入

オプティマムシステムはどんな既存のドライフィーディングのディスペンサーの下にも導入が可能で、そこから母豚の個別のニーズにしたがって定期的な飼料投与が可能です。

弊社はオプティマムシステムの下での振り子の導入もおすすめします。振り子はクリーニング目的でのシステムの簡単な取り外しを可能にし、下にある外側のパイプへの簡単で早いアクセスを可能にします。それにより簡単に早くクリーニングすることができます。



ワークロードでの点灯



実用的な解決策

すべてのWEDAの給餌システムはWEDA独自のソフトウェア エクセレント4PXを経由して制御されているため、オプティマムもスマートフォンを使ったW-モバイルを経由してリモートで制御することができます。これにより、例えばW-モバイルまたは代替の給餌コンピューターを必要に応じて使用し、母豚の餌の量を増やしたり、減らしたりすることができます。

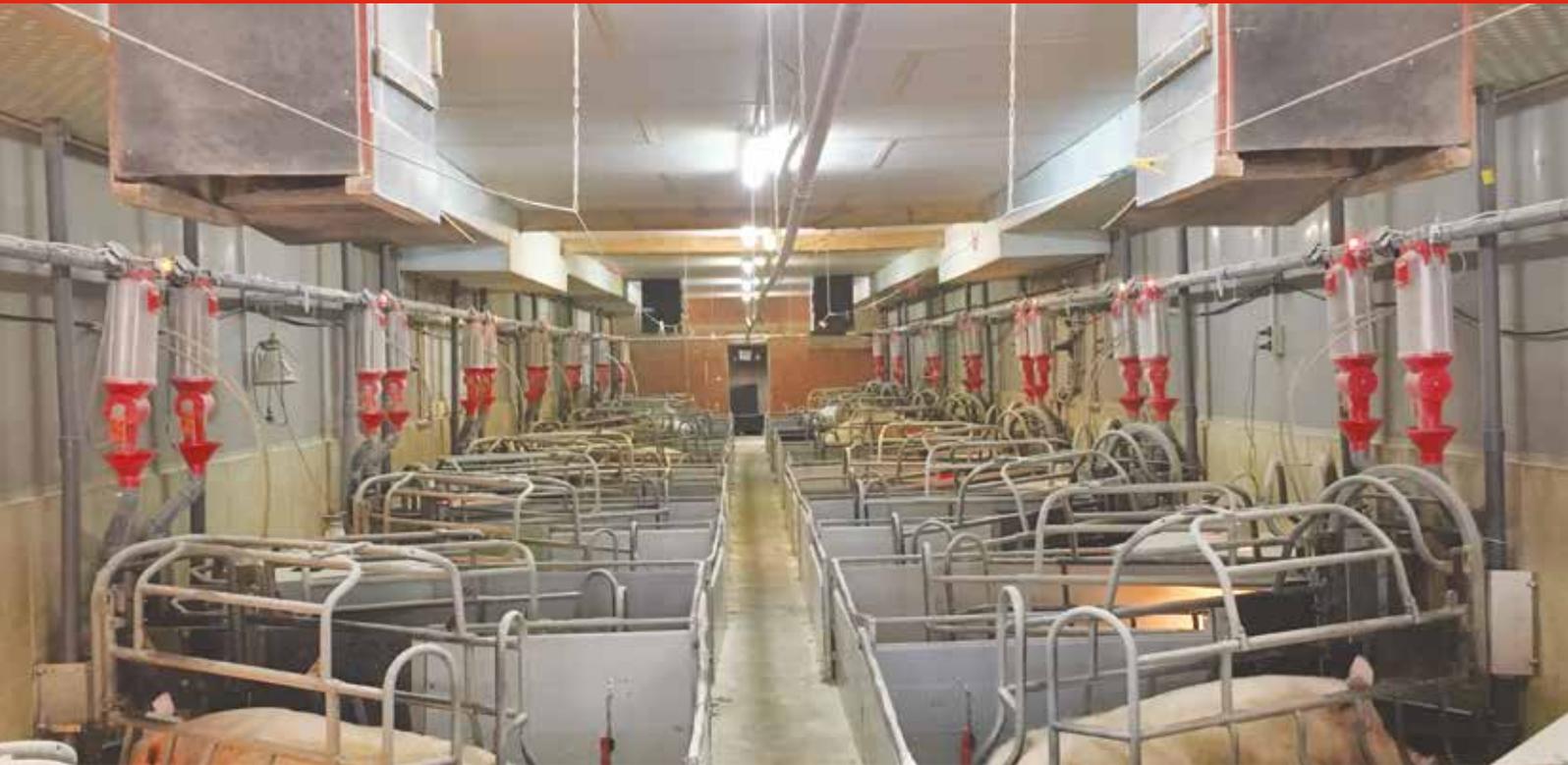
豚舎内で豚舎のスタッフが全体をより良く見るためにスマートライトを簡単に取り付けることができます。これは特定の投与ユニットの状況を示し、エクセレント4PXを経由して制御できます。表の右側は起こりうる母豚のコンディションの状態を表しています。給餌量はクリアに表示されコンピューターにカラーコードも表示されます。

もう一つオプティマムシステムの明らかな利点は、電子機械（変圧器やコンピューターなど）の豚房への導入はなく、区画に230Vのソケットは必要ありません。代わりにオプティマムシステムの電子機械は中央通路に取り付け、ゆえにアンモニアによる破損のリスクはありません。

給餌コンピューターは農場の事務所にセットし、豚舎の影響から守ることができます。

- ・オプション：スマートライト
- ・区画の電子機械は中央の通路に設置

WEDAスマートライトの状況		
オフ	母豚は飼料を食べた	システムは正常
黄色	豚を確認要	例) 母豚は60%から80%しか食べていない。
赤色	豚の取り扱いに注意!	例) 母豚は60%以下しか食べていない。



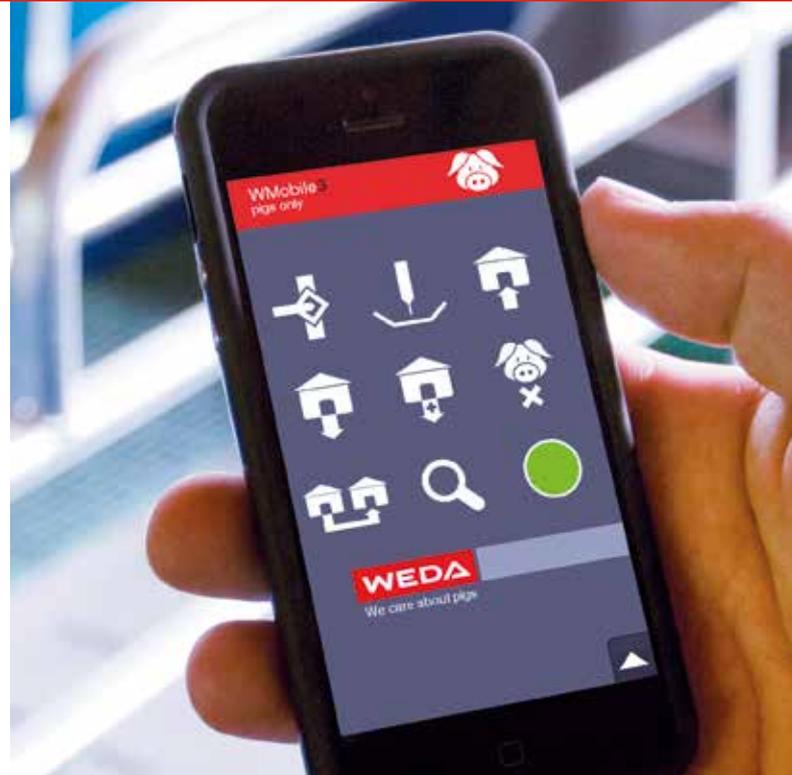
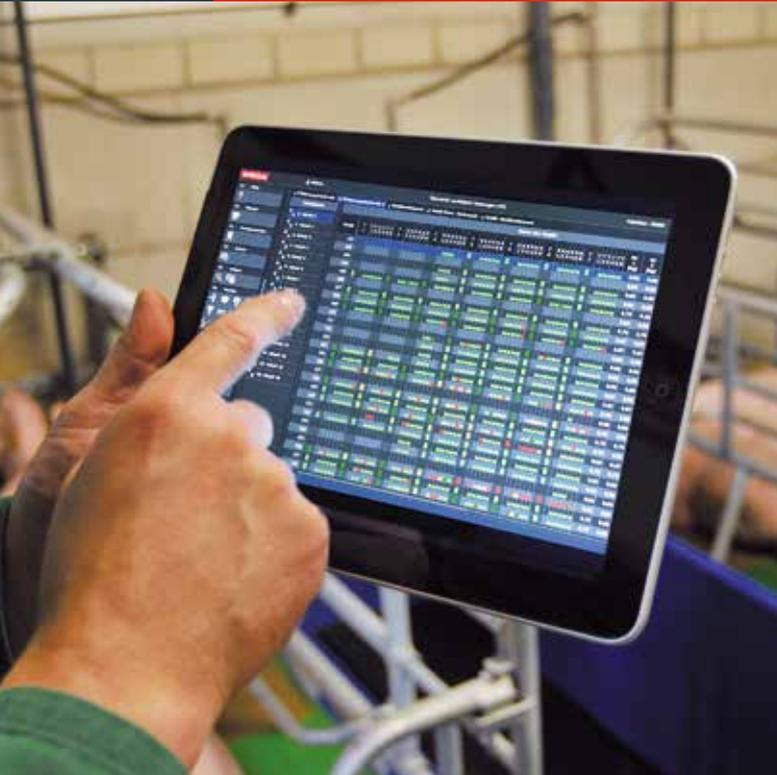
- ・ オプション：
区画プッシュボタン
- ・ オプション：
水レベルの
タイミングプログラム

オプティマムの投与システムにはオプションで区画プッシュボタンをつけることができます。これにより、農場のスタッフは、区画内のすべての投与装置でブロックの給餌を開始する機会が得られます。この機能は主に、動物の後ろで作業する必要があり、すべての動物がトラフに移動する必要がある場合に役立ちます。（顔をこするときなど）農場のスタッフが給餌を開始できるオプションも、動物の管理を容易にするのに役立ちます。

もう一つのオプションは、水のレベルのタイミングプログラムです。これは給餌中にドライ飼料と水の組み合わせが「飼料スープ」という結果ではなくマッシュの飼料になるよう水のレベルを調整します。給餌後、水のレベルは元の状態に戻ります。



モバイルデータ転送



近代コントロールテクノロジー

オプティマム投与システムはWEDAの給餌コンピューター、エクセレント4PXによって完全にコントロールされています。朝、事前設定された時間に、各ディスペンサーで約115gの少量の飼料を分配します。母豚がお腹が減った時、立ち上がってトラフの中をすべて食べます。もっと飼料を探している間、母豚が鼻で外側パイプの下にある振り子センサーに一度ぶつかると、センサーは母豚が追加の飼料を欲しがっていることを給餌コンピューターに伝えます。母豚がプログラムされた給餌曲線にしたがって割り当てられた餌が残っている場合は、システムは次の飼料を分配します。もし母豚に割りあてられた餌がない場合は、トラフは空のままです。

オプティマム投与システムでは振り子センサーが外側パイプの下に取り付けられています。それは経験から母豚が追加の餌を欲しい時にもっとも頻繁に探すところだからです。別々にセンサーを取り付けると母豚はセンサーの機能を理解することができず、追加の飼料を求めることができません。結果、大幅に給餌量が減ってしまいます。

- ・ WEDAエクセレント」4PXを経由したコントロール
- ・ 母豚の自然に飼料を求める習慣の振り子センサー
- ・ モバイルデバイス（W-モバイル）を経由した遠隔コントロール



ビデオ：振り子型センサーによる餌のリクエスト



- ・ いくつでも給餌ブロックを統括
- ・ 給餌時間を自由に調整
- ・ 給餌曲線に基づいた母豚への給餌が可能
- ・ お知らせ機能
- ・ 制御コンピューターまたはモバイルデバイス経由ですべてのデータの管理

オプティマムシステムでは給餌曲線による給餌を何ブロックでも稼働させることができます。オプティマムシステムで給餌時間を自由に設定できます。この方法で母豚は一日を通して少量ずつ餌をとることができるので、健康全体や母乳の生成にいい影響を与えます。あらかじめセットされた給餌曲線に従って給餌することも可能です。すべての給餌量はコンピューターに入力されています。大きな隔たりが生じた場合、農場はオプションレポートを受け取ることもできます。(E-メールなどを通じて)

オプティマムシステムでは給餌を仔豚の成長サイクルに合わせて調整が可能です。

これは仔豚が成長するにしたがって給餌の頻度が増えることを意味します。例えば出産した日、母豚はほとんどもしくはまったく餌を食べません。生まれてすぐのうちは生まれたての仔豚を危機にさらさないよう、必要以上に立ち上がらないようにしなくてはなりません。そのため、給餌の回数が少なくなります。しかし給餌の量は増えています。何日が過ぎると、仔豚が十分活発になれば、1回の給餌量が減り、給餌の頻度は増えます。



www.weda.de

JA 10/23
Art. No.: 910718

